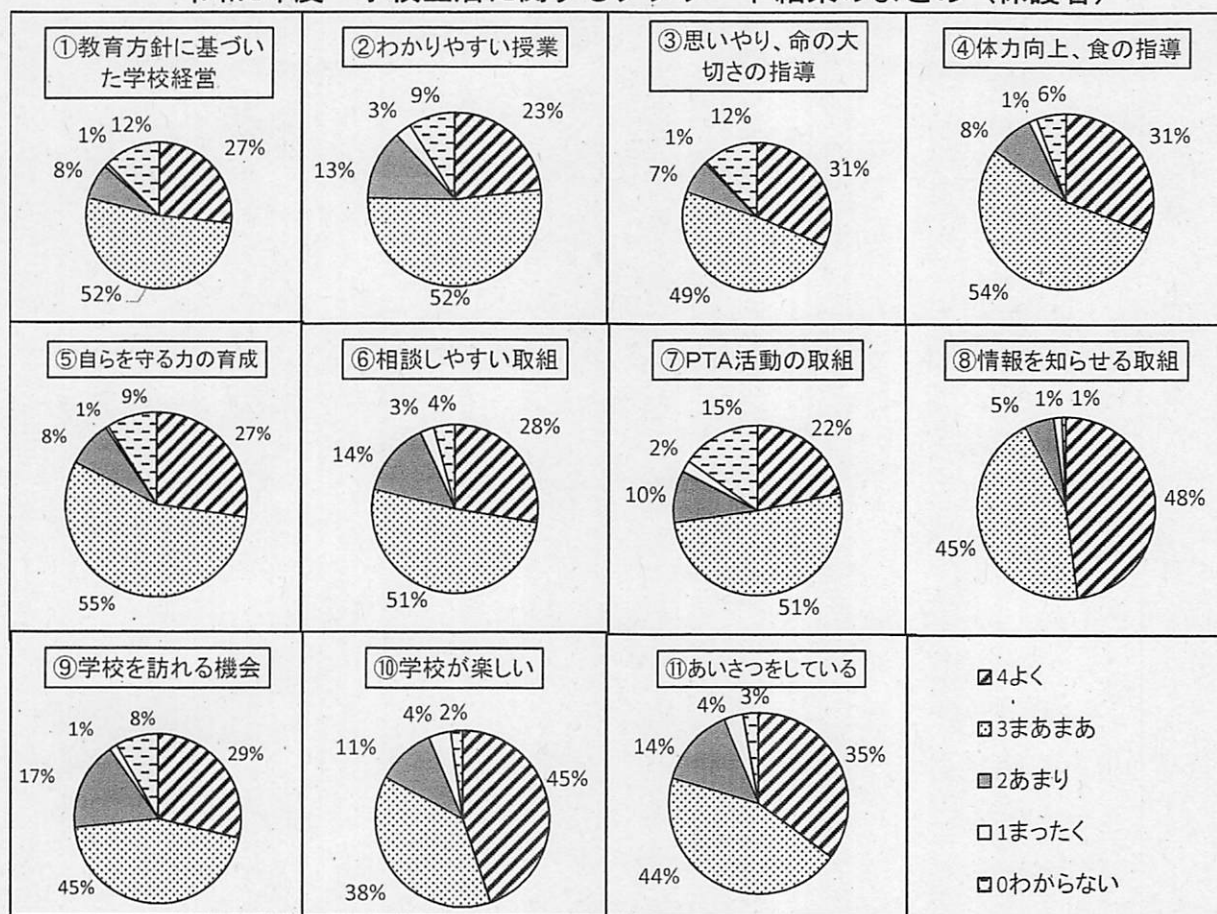
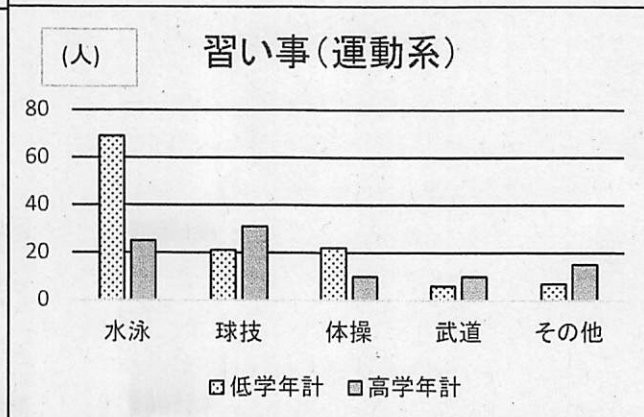
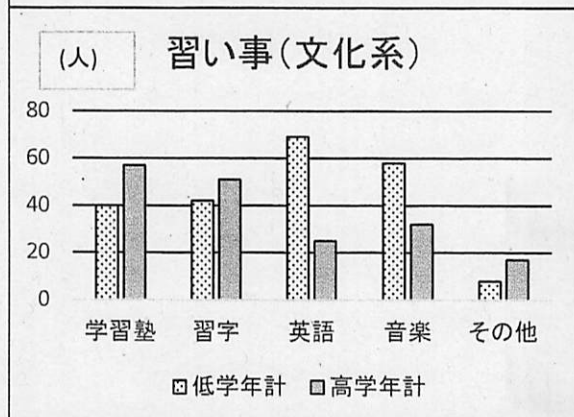
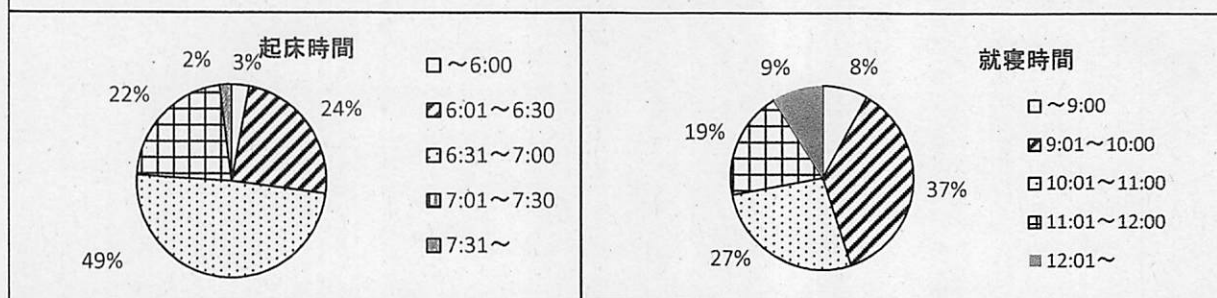
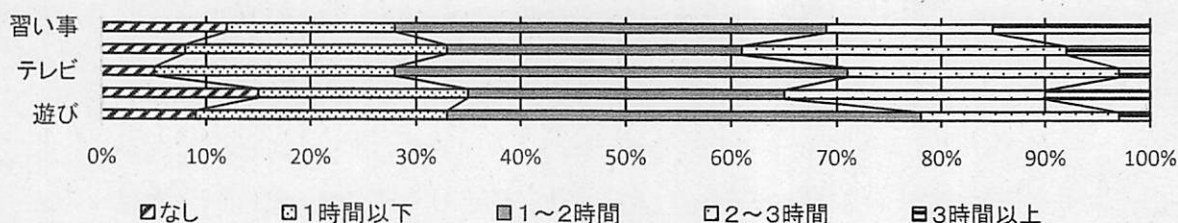


令和2年度 学校生活に関するアンケート結果のまとめ（保護者）



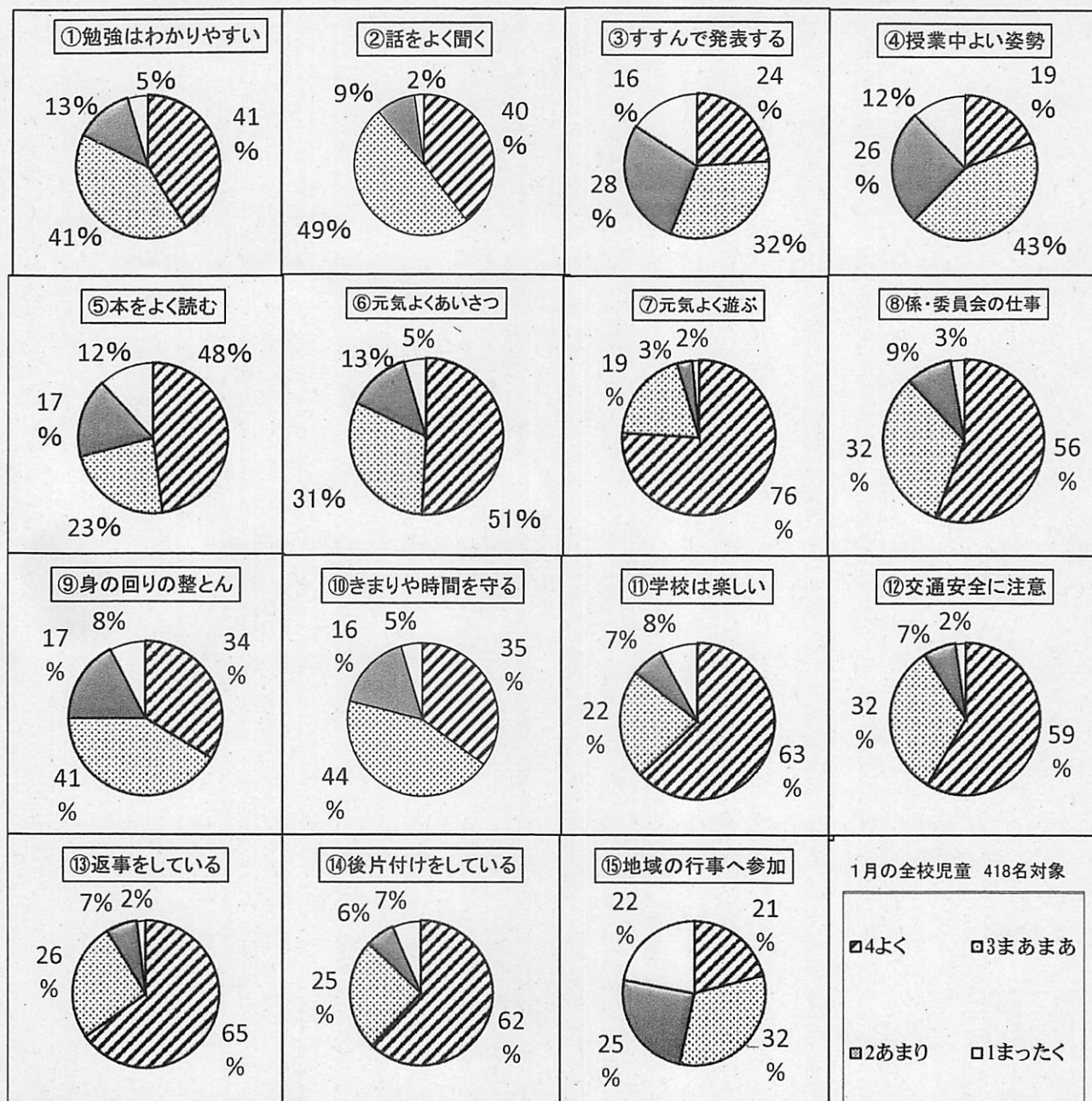
家庭での過ごし方



その他(工作、造形教室、絵画、通信学習、茶道、そろばん、プログラミング等)

その他(ダンス、バレエ、チアダンス、冒険教室、陸上、ボーイスカウト、フラダンス等)

令和2年度 学校生活に関するアンケート結果のまとめ（児童）



1月に実施しました学校教育活動に関するアンケート調査の結果をご報告します。

☆ 保護者アンケートでは、どの項目についても8割程度、肯定的な評価をいただきました。しかし、「②分かりやすい授業」については、13%の保護者の方が「あまり」、3%の方が「まったく」と答えられたことを重く受け止めています。子どもたちの学習の習熟度や興味関心に合わせた学習構想や指導法など、教員の授業力を向上させる研修を充実させ、分かりやすい授業になるように努めていきます。「⑥相談しやすい取組」については、17%が「思わない」という評価でした。保護者の皆様の不安を真摯に受け止め、問題解決に向けて速やかに対応するなど、信頼される学校づくりに努めていきます。

☆ 「こうすればもっと子どもたちのためになる」という項目では、さまざまなご意見をいただきました。あいさつについては、「地域の交通ボランティアさんに、元気なあいさつができていないことが気になる」「通学中の子どもたちにあいさつをしても、うつむいてあいさつをしない。」というご意見をいただきました。教師が手本となる姿を見せられるよう、地域の方や保護者の方に積極的にあいさつし、気持ちの良いあいさつのできる子が増えるよう、努力していきます。

児童も、昨年度と同様に、自分を振り返るアンケートを行いました。

☆ 「元気よく遊ぶことができる」「交通安全に気をつけている」「返事をしている」という項目で、「そう思う」「まあまあそう思う」と答えた子が90%以上いました。この点については、雁宿っ子はよく身についていると感じているといえます。それに対して、「すすんで発表」「授業中の姿勢」についてはあまりできていないと感じている子が多いようでした。間違いや失敗が許容され、試行錯誤しながら学び合える学習環境、視覚や聴覚に訴える教材の準備など、子どもたちが前向きに学習に向き合うことができるよう努めていきます。